平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名　株式会社 テーオーシー　　上場取引所　東
コード番号　8841　URL　http://www.toc.co.jp/toc/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大谷卓男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当　(氏名) 羽廣元和　TEL 03-3494-2111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,483	0.8	2,893	0.2	2,558	1.3	1,471	59.2
24年3月期第2四半期	10,403	△5.4	2,888	△8.3	2,524	△7.5	924	6.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,261百万円　(△45.5%)　24年3月期第2四半期　2,314百万円　(64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.96	―
24年3月期第2四半期	7.51	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	133,585	66,725	49.6	538.00
24年3月期	136,011	66,018	48.2	532.45

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　66,195百万円　24年3月期　65,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	4.50	―	4.50	9.00
25年3月期	―	4.50			
25年3月期(予想)			―	4.50	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	0.0	5,600	△6.9	4,850	△7.3	2,850	24.7	23.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	136,879,352 株	24年3月期	136,879,352 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	13,838,997 株	24年3月期	13,838,690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	123,040,515 株	24年3月期2Q	123,164,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間(平成24年４月１日～平成24年９月30日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、東京都内における新築大型ビルの相次ぐ開業により上昇した空室率も、時間の経過とともに都心部を中心として反転の兆しが見えてきましたが、賃料水準の改善にはしばらく時間を要するものと思われます。また、商業ビルにおきましては、商業施設間の競合、地域間の競争が激しく、さらに、消費者物価の下落傾向が続くなど厳しい事業環境となっております。

このような状況下、当第２四半期連結累計期間における売上高は10,483百万円(前年同四半期比0.8%増)となり、経常利益は2,558百万円(前年同四半期比1.3%増)、四半期純利益は1,471百万円(前年同四半期比59.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、入居率は前期末に比べ若干低下しておりますが、一部ビルではリニューアルを実施し、競争力の強化と収益の向上を目指しております。この結果、売上高は8,423百万円(前年同四半期比1.0%減)となり、営業利益は2,799百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、前年同期間に大口顧客先であるホテルが震災等により大幅な稼働減少等の影響を受けましたが、当第２四半期連結累計期間では順調に回復し、売上高は805百万円(前年同四半期比21.0%増)となり、営業利益91百万円(前年同四半期は2百万円の営業損失)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業では、請負工事の受注が増加したため増収となりました。スポーツクラブ及び温浴施設事業では、スポーツクラブの会員数が前第２四半期末に比べ増加したことにより増収となりました。製薬事業、電子商取引事業では減収となったもののコストの削減に努め損失額が減少しました。この結果、その他での売上高は1,254百万円(前年同四半期比1.8%増)となり、営業損失12百万円(前年同四半期は105百万円の営業損失)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,425百万円減少し133,585百万円となりました。

資産の部の主な減少は、有形固定資産が1,348百万円、現金及び預金が696百万円及び投資有価証券が383百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,133百万円減少し66,859百万円となりました。主な減少は、１年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が1,775百万円及び長期預り保証金が768百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ707百万円増加し66,725百万円となりました。主な増加は、四半期純利益1,471百万円であり、主な減少は、剰余金の配当553百万円及びその他有価証券評価差額金239百万円であります。自己資本比率は、前連結会計年度末の48.2%から当第２四半期連結会計期間末は49.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前第２四半期連結会計期間末に比べ937百万円減少し6,985百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,400百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益2,428百万円及び減価償却費1,622百万円の計上であり、減少要因は預り保証金の減少額772百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間との比較では9百万円多い資金の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は308百万円(前年同四半期は1,358百万円の資金の収入)となりました。

主な内訳は、減少要因として有形固定資産の取得による支出348百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間は1,358百万円の資金の収入となりましたが、これは、主に投資有価証券の償還による収入1,500百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は2,788百万円(前年同四半期比20.6%減)となりました。

主な内訳は、増加要因として長期借入れによる収入2,042百万円であり、減少要因は長期借入金の返済による支出3,817百万円、配当金の支払額550百万円及び社債の償還による支出287百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間との比較では721百万円少ない資金の支出になりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

不動産事業では、オフィスの大量供給によってもたらされた需給のアンバランスにより、当面、厳しい事業環境が続くと思われますが、引き続きビルの特性に応じた営業活動に取組むとともに、一部のビルではリニューアル等を実施し収益の向上を目指しております。当社グループにおける業績予想につきましては、現時点において平成24年５月15日発表の予想数値の変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,118	7,422
受取手形及び営業未収入金	1,268	1,336
商品及び製品	22	29
仕掛品	12	12
原材料及び貯蔵品	185	203
繰延税金資産	232	282
その他	376	310
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	10,177	9,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,807	59,556
機械装置及び運搬具（純額）	118	127
土地	44,149	44,149
建設仮勘定	110	－
その他（純額）	180	184
有形固定資産合計	105,367	104,018
無形固定資産		
借地権	6,966	6,966
施設利用権	56	53
その他	85	60
無形固定資産合計	7,108	7,080
投資その他の資産		
投資有価証券	12,279	11,895
保険積立金	836	799
繰延税金資産	17	12
その他	224	217
投資その他の資産合計	13,358	12,924
固定資産合計	125,834	124,023
資産合計	136,011	133,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61	59
短期借入金	13,548	13,365
1年内償還予定の社債	574	574
1年内返済予定の長期借入金	12,758	12,006
未払金	1,082	924
未払消費税等	194	104
未払法人税等	1,185	1,011
賞与引当金	92	99
その他	2,497	2,964
流動負債合計	31,993	31,109
固定負債		
社債	2,396	2,109
長期借入金	23,883	22,860
長期預り保証金	9,976	9,208
退職給付引当金	276	302
役員退職慰労引当金	272	282
環境対策引当金	58	58
資産除去債務	261	261
繰延税金負債	707	560
その他	165	107
固定負債合計	37,999	35,750
負債合計	69,993	66,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,082	10,082
利益剰余金	47,104	48,022
自己株式	△5,283	△5,283
株主資本合計	63,672	64,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,889	1,649
繰延ヘッジ損益	△48	△44
その他の包括利益累計額合計	1,840	1,605
少数株主持分	505	530
純資産合計	66,018	66,725
負債純資産合計	136,011	133,585

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	10,403	10,483
売上原価	6,452	6,557
売上総利益	3,950	3,926
販売費及び一般管理費	1,062	1,032
営業利益	2,888	2,893
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	124	93
持分法による投資利益	6	－
その他	68	67
営業外収益合計	203	164
営業外費用		
支払利息	514	463
持分法による投資損失	－	3
その他	53	32
営業外費用合計	567	499
経常利益	2,524	2,558
特別損失		
固定資産除却損	0	9
投資有価証券評価損	871	－
解体撤去費用	－	120
特別損失合計	871	129
税金等調整前四半期純利益	1,652	2,428
法人税、住民税及び事業税	657	993
法人税等調整額	70	△62
法人税等合計	728	931
少数株主損益調整前四半期純利益	924	1,497
少数株主利益	0	25
四半期純利益	924	1,471

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	924	1,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,412	△239
繰延ヘッジ損益	△22	4
その他の包括利益合計	1,389	△235
四半期包括利益	2,314	1,261
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,314	1,235
少数株主に係る四半期包括利益	0	25

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,652	2,428
減価償却費	1,687	1,622
投資有価証券評価損益（△は益）	871	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△4
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	6
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△40	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	24	25
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9	9
環境対策引当金の増減額（△は減少）	－	0
受取利息及び受取配当金	△128	△96
支払利息	514	463
持分法による投資損益（△は益）	△6	3
固定資産除売却損益（△は益）	0	9
売上債権の増減額（△は増加）	△34	△68
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5	△23
仕入債務の増減額（△は減少）	7	△1
預り保証金の増減額（△は減少）	△128	△772
未払消費税等の増減額（△は減少）	△356	△89
その他	△33	380
小計	4,042	3,893
利息及び配当金の受取額	133	101
利息の支払額	△520	△453
法人税等の支払額	△1,264	△1,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,391	2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25	△25
定期預金の払戻による収入	325	25
有形固定資産の取得による支出	△417	△348
無形固定資産の取得による支出	△6	－
投資有価証券の償還による収入	1,500	－
保険積立金の払戻による収入	50	51
保険積立金の積立による支出	△67	△14
その他	－	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,358	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△306	△183
長期借入れによる収入	－	2,042
長期借入金の返済による支出	△2,281	△3,817
社債の償還による支出	△290	△287
自己株式の取得による支出	△80	△0
配当金の支払額	△551	△550
その他	－	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,510	△2,788
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	239	△696
現金及び現金同等物の期首残高	7,682	7,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,922	6,985

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	不動産事業	リネンサプライ及びランドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,505	665	9,170	1,232	10,403	―	10,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	475	26	501	68	570	△570	―
計	8,980	691	9,672	1,301	10,973	△570	10,403
セグメント利益又は損失(△)	2,990	△2	2,988	△105	2,882	5	2,888

(注) １　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円には、セグメント間取引消去2百万円、減価償却の調整額3百万円が含まれております。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	不動産事業	リネンサプライ及びランドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,423	805	9,229	1,254	10,483	―	10,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	26	506	63	570	△570	―
計	8,904	831	9,736	1,317	11,053	△570	10,483
セグメント利益又は損失(△)	2,799	91	2,891	△12	2,878	14	2,893

(注) １　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円には、セグメント間取引消去11百万円、減価償却の調整額3百万円が含まれております。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。